

抗 Rnq1 (*S. cerevisiae*) 抗体, ウサギポリクロ

62-301 100 u g

輸送及び保存温度： 4℃または-20℃で輸送、-20℃ で保存。凍結は避ける。

用途：ウエスタンブロッティング (1/1,000)。他の用途は試していない。

抗原： Rnq1 タンパク質 C-末端に相当するペプチド CSQQNNGNQNRY

反応特異性： *S. cerevisiae* Rnq1。他の種についてはテストしてない。

製品：ウサギ ポリクローナル抗体。抗血清から Protein A カラムで IgG として精製。

形状：1 mg/ml in PBS, 50% glycerol. 0.22 um filter で滅菌。他の添加物はない。

背景: グルタミンとアスパラギンに富む **Rnq1 タンパク質**は酵母プリオンタンパク質のひとつである。**Rnq1 タンパク質**の機能はわかっていないが、[*pin*]と呼ばれる非感染性の可溶性モノマー形および[*PIN*⁺]と呼ばれる不溶性のアミロイド状凝集形として存在する。不溶性の凝集形は優性であり、細胞質を介して細胞間に伝搬する。**Rnq1 タンパク質**は別のプリオンである[*PSI*⁺]を *de novo*で誘発する。分子シャペロン Hsp104 はポリグルタミンの凝集体形成に、およびプリオン表現形の維持に重要である。すでに存在する凝集体がシャペロン依存性の酵母プリオンの発達に必要な (文献 3)。

データリンク： UniProt [P25367](#) , SGD [RNQ1/YCL028W](#)

文献：この抗体は下記の論文で用いられている。

- Kimura Y *et al* "The role of pre-existing aggregates in Hsp104-dependent polyglutamine aggregate formation and epigenetic change of yeast prions." *Genes to Cells* 9: 685-696 (2004) PMID: [15298677](#)

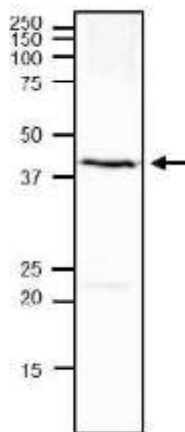


図. 出芽酵母粗抽出液中の Rnq1 タンパク質のウエスタンブロット。
S. cerevisiae strain BY4741 粗抽出液 (35 ug) をウエスタンブロットで解析した。抗体は 1/1,000 希釈で用いた。Rnq1 タンパク質の分子質量は 42.6 kDa である。

関連製品: #[62-300](#) anti-Sup35/PS+ (*S. cerevisiae*) antibody #[62-302](#) anti-Cdc37 (*S. cerevisiae*) antibody